

絶景と暮らす “新名所”マンション

再開発によって変容する都心の街並み。
新たな絶景を鑑賞できる、2020年以降竣工の
“新名所”マンションを訪ねた。

「非日常のリゾートに浸れる絶景が
購入の決め手になりました」

バルコニーから橋の中
央部までは直線で約
1.5km離れており、全長
約800mすべてを視界
に収められる。

SPOT 1

レインボーブリッジビューの 新ベストポジション

[HARUMI FLAG PARK VILLAGE (A棟)]
SINCE 2023

「この景色はNYのブルックリン橋越しに見たマンハッタンの摩天楼の記憶を蘇らせます」



東京湾に架かる象徴を正面から見渡す特等席

Nさんがスイッチを押すとロールカーテンがゆっくりと上昇した。バルコニー越しに姿を現したのは、東京湾の上で煌めくレインボーブリッジだ。

「レインボーブリッジが見えるマンションは湾岸に数多い。でも、遮蔽物ゼロで、なおかつ端から端まで一望できるのはHUMI FLAGの海に面した住宅棟のみだと思います」

ここは、今年1月に引き渡しを受けたばかりの東京湾に最も近い住宅棟の一つ、PARK VILLAGE A棟の高層階だ。本宅は神宮前で、目の前に深い森を見渡せる眺めの良いマンションですが、そこから車で20分ほど移動するだけで、この、非日常に浸れるリゾートを満喫できます。日没時、橙色に染まる空、時間帯で色が変わるブリッジのライト

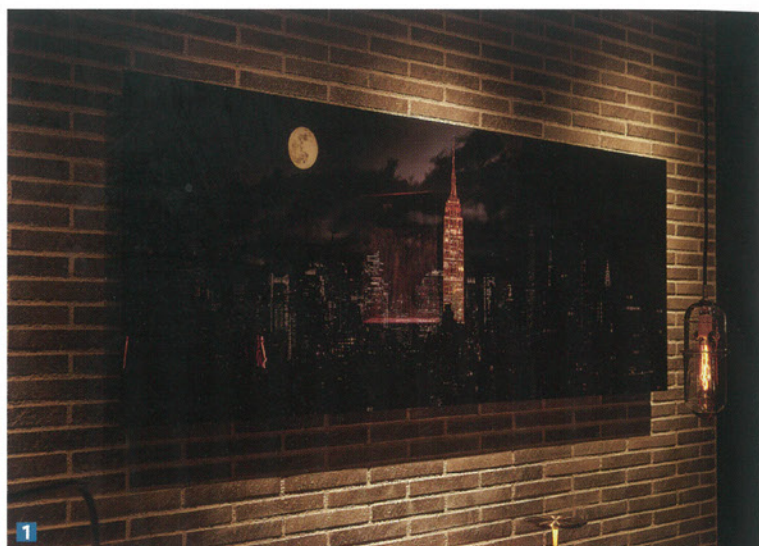
アップ、海上を行き交う屋形船……心身ともにくつろげますね。室内と違って眺めには後から手を加えられない。唯一無二の絶景を手に入れたことに満足しています」

招いたゲストと絶景の出合いをドラマチックに演出するため、冒頭で触れた電動ロールカーテンを特注したNさん。さらに、リビングには天候や時間帯で刻々と変わる眺めが最も美しく見えるように、窓に光源が映り込まない特殊調光器を導入した。NYのブルックリンをテーマにした内装も目を引く。「ここから見るレインボーブリッジとその横のビル群が、ブルックリン橋とNYの摩天楼を彷彿とさせるんです。そこで色が浅く細めで圧迫感のないレンガ壁や暖炉をしつらえ、彼の地のコンドミニアムの雰囲気を実現しました」Nさんにとってこの眺めは、NYと東京がシンクロする特別な絶景なのだ。

ダイニングスペースから橋を見たとき、ちょうどアイレベルになるような高さの椅子、テーブルをセレクト。



1 ダイニング横の壁にNYで購入したエンバイアステートビルのフォトパネルを飾っている。2 その左には同じ高さにマンハッタンブリッジ、ブルックリンブリッジが写ったパネル。さらに左を見ると実物のレインボーブリッジが視界に飛び込んでくる演出。3 写真パネル反対側の壁には暖炉やアンティークの家具を。植物をライトアップして陰影を出す演出も。4 内廊下の一角にはワインとグラスを収めるアンティーク家具を設置。5 寝室のWICにはフランスの家の玄関に取り付けられていたアンティーク扉を据え付けた。6 内部間接照明でライトアップされた寝室の窓は、NYらしさを感ぜさせるアーチ状の窓に。



DATA

中央区晴海
総戸数（A棟）:89戸（地上14階・地下1階建て）
分譲時売主:三井不動産レジデンシャル、三菱地所レジデンス、野村不動産、住友不動産、住友商事、東急不動産、東京建物、NTT都市開発、日鉄興和不動産、大和ハウス工業

